

消化器・肝臓病センター

おかもと こうじ
センター長 岡本 好司

専門医等

日本外科学会 専門医・指導医
日本消化器外科学会 専門医・指導医
日本肝胆膵外科学会 高度技能指導医
日本肝臓学会 専門医・指導医
日本消化器内視鏡学会 専門医・指導医
日本消化器病学会 専門医・指導医
日本乳癌学会 認定医
日本腹部救急医学会 腹部救急教育医・腹部救急認定医
日本消化器外科学会 専門医・消化器がん外科治療認定医
日本Acute Care Surgery学会 認定外科医
日本血栓止血学会 血栓止血認定医

卒年

昭和60年



センターの紹介

～消化器疾患・肝臓疾患の専門医・薬剤師・看護師が連携して診療します～

消化器・肝臓病センターは2011年11月に各種消化器疾患・肝臓病を総合的に、専門的に、かつ先進的に医療を行うため開設されました。胃癌、大腸癌、肝臓癌、胆嚢癌、膵臓癌、胆管癌等の悪性腫瘍に加えて、胃・十二指腸潰瘍、胆石症、ウイルス肝炎、肝硬変、脾腫、食道静脈瘤、膵炎、胃・十二指腸逆流症、大腸ポリープ、大腸憩室症等の良性腫瘍に対して消化器内科、消化器外科、肝臓外科、胆道外科、膵臓外科、内視鏡外科、放射線科の各診療科の密で機動的、横断的な連携により、高度な診療体制を構築するとともに、がん薬物療法認定薬剤師や看護師等とともにチームワーク良く診療を行っています。

また、救命救急センターと密な連絡をとり、腹膜炎、急性胆管炎、急性胆嚢炎、急性膵炎、急性腸炎等の急性腹症、吐血、下血、腹部外傷なども消化器の専門性を活かしながら、診療を行っています。

開設後すでに9年経過しましたが、手術件数、内視鏡件数、癌化学療法件数、緊急入院件数等すべて順調に増加しており、地域の皆様に役に立つ消化器疾患、肝臓疾患の専門センターとして今後とも機能していく予定です。

さらに、新病院移転後の2018年12月からは、西日本最大の広さと機能を持つ血管造影とCT撮影を備えた手術室（ハイブリッドオペレーションルーム）を新設し、出血疾患や外傷に対応するとともに、塞栓手術やCT併用の腫瘍焼灼術なども症例を伸ばしています。

取り扱う主な疾患

●診療の3本柱●

- (1) 放射線専門医、消化器病専門医、消化器内視鏡専門医、肝臓専門医、消化器外科専門医による検査・診断
- (2) 消化器内視鏡専門医、消化器がん外科治療認定医、消化器外科専門医、肝胆膵外科高度技能指導医、内視鏡外科学会技術認定医等による内視鏡治療、腹部各領域のがん手術、腹腔鏡手術、放射線専門医が行うカテーテル治療
- (3) がん化学療法認定医、がん治療認定医（教育医）、消化器病専門医、肝臓病専門医、がん薬物療法認定薬剤師や看護師が共同で行う、がん化学療法、分子標的治療、肝炎インターフェロン治療、肝炎抗ウイルス療法（インターフェロンフリー療法）等の薬物治療ワークステーションが参加し、週間および月間救急患者動向（救急入院患者数、消防救急車受入件数・応需率、CPA事案、ドクターカー出動事案など）を分析・報告しています。

2020年は、COVID-19に対して、術前にLAMP法を用いた検査を行い、安全に手術を施行するシステムを構築し、運営しております。



ハイブリッド手術室